

クリスティアン・ゲルハール バリトン・リサイタル

グスタフ・マーラー没後100年記念「オール・マーラー・プログラム」

2011.12.3 土 6月13日発売
PM5:00開演

ザコンサートホール 名古屋・伏見
電気文化会館

全指定席 ¥7,000 学生 ¥3,500

※学生券は電気文化会館チケットセンターのみ取扱い

(C)Alexander Basta



Piano

ゲロルト・フーバー

Christian Gerhaher & Gerold Huber

Gustav Mahler (1860-1911)

「さすらう若人の歌」(全4曲) Lieder eines fahrenden Gesellen

・恋人の青い眼 ・けさ野辺を歩けば ・私の胸の中には燃える剣が ・恋人の婚礼のとき

「子どもの魔法の角笛」より Lieder aus "Des Knaben Wunderhorn"

・だれがこの歌を作ったのだろう ・夏に小鳥はかわり ・私は緑の森を楽しく歩いた
・いたずらな子をしっかりとつるために ・ラインの伝説 ・番兵の夜の歌
・塔の中の囚人の歌 ・この世の生活 ・シュトラスブルクの砦に ・美しいトランペットが鳴り響く所

「亡き子をしのぶ歌」(全5曲) リュッケルトの詩による Kindertotenlieder (Friedrich Rückert)

・いま太陽は輝き昇る ・なぜそんなに暗い眼差しなのか、今にしてよくわかる
・おまえのお母さんが ・ふと私は思う、あの子たちはちよつと出かけたいただけなのだ
・こんな嵐に

【主催・お問合せ】電気文化会館 (052) 204-1133

チケット
お取扱い

■電気文化会館チケットセンター (052) 204-1133 <http://www.chudenfudosan.co.jp>
■チケットぴあ pia.jp/t 0570-02-9999【Pコード:139-883】
■芸文PG (052) 972-0430 ■ヤマハPG (052) 201-5152

PROFILE

1968年生まれ。ミュンヘンとローマで歌(と哲学と医学)の勉強をしているときに、ミュンヘン音楽大学のオペラ学校に入学。ディートリヒ・フィッシャー＝ディースカウやエリザベート・シュヴァルツコプフ、インゲ・ボルクなど著名な歌手のマスタークラスを受講。リート歌手として、カーネギー・ホールの室内楽ホール、フェルトキルヒ・シュペルベルティアデー(2000年、ポストリッジの代役で出演し絶賛を博す)や、ロンドンのウィグモア・ホール(エディット・マティスとの共演)等でデビューを飾った。2002年ボリーニ・プロジェクトに抜擢されて来日し、シュペルベルトを披露したほか「詩人の恋」のリーダー・アーベントでその美声と卓越した歌唱を強く印象付けた。さらに2008年の来日では、シュペルベルト3大歌曲を歌い大成功を収めた。オペラでも活躍するほか、録音も多く、専属ピアニスト フーバーとともにシュペルベルトの作品を収めた「夕暮れの情景」でグラモフォン賞を始め、2010年にはマーラーのアルバムがMIDEMクラシック賞年間最優秀歌手、オランダのエディソン・クラシック賞、ドイツ・レコード批評家賞年間最優秀賞など高い評価を得た。

ザ・コンサートホール・メイツ 会員募集中!!

主催公演の優先予約&チケット2割引
入会金無料/年会費1,200円